

平成 29 年度第 2 回理工学分野連携グループの合同委員会議事録
学系別 F D / I C T 活用研究委員会（物理学、化学、機械工学、建築学、経営工学）
サイバー・キャンパス・コンソーシアム運営委員会（電気通信工学、土木工学、生物学）

- I. 日 時：平成 29 年 11 月 5 日（日） 10:00～12:00
II. 会 場：私学会館（アルカディア市ヶ谷）
III. 出席者：機械工学 角田担当理事、田辺委員長、高野委員
建築学 関口委員長
経営工学 渡邊委員長、井上委員、水野委員
物理学 藤原委員長、寺田副委員長、穴田委員、松浦アドバイザー
化学 及川委員長、小林副委員長、武岡委員
電気通信工学 新津委員、小林清委員
生物学 佐野委員
(事務局) 井端事務局長、野本

IV. 議題概要

1. 開催要項の確定について

話題提供、話題提供者及び意見交流テーマの案を検討し、開催要項を確定させた。

- ・ 電気通信工学分野は、「プロジェクトによる実践的な体験型学修に ICT を活用した授業モデルの提案」として、学生の参加も検討することにした。
- ・ 機械工学分野は、「社会問題の解決を目指す分野を超えた共創教育の提案」として、学力の 3 要素を含む P B L の提案としている。
- ・ 経営工学分野は、「解のない問題に主体的に取り組ませるアクティブ・ラーニングの提案」として、ゼロベースから何を改善すべきか課題発見の進め方の提案としている。
- ・ 建築学、土木工学分野は、「地域課題の解決に向けた社会人基礎力を育むアクティブ・ラーニングの評価と改善の提案」として、主体性、多様性、協働性を踏まえた授業改善としている。
- ・ 物理学、化学、生物学分野は、「e-シラバスによる理工系大学のアクティブ・ラーニングを推進する提案」教員間で共有し、授業改善の考察に役立てる e-シラバスの提案としている。
- ・ 意見交流は、①学力の 3 要素、②分野横断の総合的授業、③授業科目の相互改善、④外部評価モデルについて、アンケート回答含め ICT 活用の工夫や必要性の課題を整理することにした。

2. 運営シナリオの検討と役割分担について

- ・ 進行メモ案をもとに、司会、趣旨説明、意見交流の司会・サポーターを決定した。
- ・ 課題について理解を深めてもらう工夫をアンケート結果も利用し、シナリオを分担して検討することにした。
- ・ 学生についても、委員校で可能であれば参加を検討することにした。

V. 今後の予定

対話集会は、12月24日（日）13:30から開催し、開催要項の修正と運営シナリオをメールで分担して調整を行うことにした。